

おぶせオープンガーデン概要	
①当該事業をはじめたきっかけ	小布施町は、昭和 55 年以前から花によるまちづくりを進め、官民一体となり自治会花壇、公共花壇づくりに取り組むとともに、個人のお宅でも、花による庭づくりをされる方が増えていった。 オープンガーデンは、NHK「趣味の園芸」講師などでご活躍されている杉井明美先生より、発祥地のイギリスのオープンガーデン「イエローブック」の「小布施版」を提案され、町が広報誌による募集や、ガーデニングに取り組まれる方々に直接参加を呼びかけ、38 軒でスタートしたものである。
②当該事業をはじめてみての反響	町にお客様が訪れることにより、花仲間の交流の輪が広がり、町全体にも活気が出ると共に、オープンガーデンのお宅のみならず、近所のお宅もきれいになり、地域がきれいになった。
③どうしてここまで多くの家庭が参加していただけたのか（その働きかけの仕方など）	当初は個人のお庭を公開することに抵抗があり、なかなか参加してもらえなかった。また、参加したいが誘われるのを待っている方もいた。そんな方々の口コミでオープンガーデンが広く周知されるようになり参加者が増えた。 働きかけについては、広報誌による募集、町が直接参加を呼び掛けるなどした。
④補助金等の金銭的支援あるか	小布施町ではスタート時点から、オーナーの皆さんに、苗代等の補助金は差し上げていない。町ではオープンガーデンブックの発刊とお宅の看板を用意しているだけである。 オーナーの方の好意と善意のもとつくボランティアによって成り立っている。開始して数年が経った頃に、補助ではないが支援しようかという話があったが、オーナーさんから「私たちは、支援をもらうために行っているのではない」と、反対の意見があった。
⑤オープンガーデンを作る際にアドバイザーのような人がいるか（制度があるか）	特に制度はない。設立については、杉井明美先生の提案によるものである。
⑥町民のモチベーションはどこにあるか	花のまちづくりは、小布施人の「町を愛する心」「お客様をおもてなしする心」から生まれた活動である。訪れる人に、花を通じた人と人との交流を楽しんでいただきたいという思い、そしてそこから交流の輪を広げその関係性を深めていきたいという思いが、オープンガーデンの根底にあると考えている。 また、住む人や来る人にとって癒される町、花をみて心を和ませ元気になる町でありたいという思いのもと今後も進めていきたい。

○委員の意見（抜粋）

- ・ 具体的に行動に移すことが必要である。例えば、公園を一部管理させてもらい、緑を育てることなどができたらよい。
- ・ 墨田区は個人の庭があまりないので、企業、商店などと協力していくとよい。例えば、北斎通りをガーデニングする（企業とも連携する。）のはどうか。
- ・ 条例等で整備されれば、花の推進が進むのではないか。
- ・ 北十間川周辺のハンギングバスケットを別の場所でも実施できるとよい。
- ・ 種の生育記録を SNS 発信してもらおうとおもしろい。グループをつくり生育記録を載せ合えとなおよい。
- ・ 花壇やプランターを増やしながらか、今ある樹木を維持・管理していくことも重要である。
- ・ 墨田区と小布施町環境が異なり、庭などの花を育てるスペースがない。
- ・ 小布施は、自然に接する機会が多い。そのため、自然に対する知識が豊富である。墨田区等で実施するにあたっては無料のガーデニング講座があるとよい。
- ・ 種や苗を配布するときには、育て方も一緒に教えると緑化推進につながる。
- ・ 種から育てる意識が、まちをきれいにする意識につながる。
- ・ 小布施町では町民がきれいにしようという意識がある。小さな活動が連鎖するように広がっている。
- ・ おぶせオープンガーデンのまちを愛する心が花や緑を育てるという考え方は墨田区でも通じるものがある。
- ・ 小布施町のように、墨田区でも軒先園芸を通して交流が生まれる。
- ・ 地域毎に花の地区を作るのがよいのではないか。

（まとめ）

多くの区民が「緑に興味を持ち、緑に触れる」、「緑を育てる」、「緑について考え学ぶ」行動をとることが「緑の維持・育成」のために重要であること、また、そういった行動・取組について「情報を発信する」ことが必要である。

実際に緑を育てる活動を通して、まちを愛する心を醸成し、それがさらなる緑を育てようという意識につながることを期待できる。

5 活動報告会

今期の活動内容について、以下のとおり活動報告会を実施した。

○日時 令和7年3月21日（金） 18時30分～20時00分

○場所 区役所12階121会議室

○参加者

【委員】宇田川委員、森下委員、小林（紀）委員、深萱委員、小木曾委員、橋本（恵）委員、橋本（玲）委員、門倉委員、笠貫委員、佐原委員、佐野委員、碓氷委員、小林（茂）委員、木股委員、松村委員、石井委員、大垣委員、河田委員

【墨田区】墨田区長、資源環境部長、環境保全課環境管理担当係長、（以下事務局）環境政策課長、環境政策環境政策担当主査、環境政策課環境政策担当主事

○内容及び発表者

（１）今期の活動報告概要の説明.....宇田川委員

（２）各活動の報告・提言の発表

①花と緑のフィールドワーク.....佐原委員・門倉委員

②区民への情報発信の強化.....松村委員・木股委員

③すみだ環境フェアへの出展

・花と緑の写真の活用等.....石井委員

・花の種の配布（花を育てる活動の推進）.....河田委員

（３）各委員からの意見・感想の発表

（まとめ）

各委員が主体となり、「緑の維持・育成」をテーマとした今期活動の報告を行うことができた。区長らが参加し、区民会議として、区に対して意見を表明することができた。また、今後の課題、目標等を共有することができ、来期につながる報告会となった。



第10期すみだ環境共創区民会議（令和5年度・令和6年度） 委員名簿

役職	氏名	所属等	選出区分
会長	宇田川 明		環境保全活動に 実績のある 区民及び事業者
	森下 香洋子		
	深萱 智子	東京電力パワーグリッド株式会社 江東支社	
	小林 紀子	東京ガス株式会社 東京東支店	
	小木曽 清三		
	橋本 玲子	なでしこ	環境団体の構成員
	門倉 美雪	緑と花のサポーター	
	佐原 滋元	雨水市民の会	
	笠貫 昇	すみだ景観フォーラム	
	橋本 恵子	エコライフサポーター	
	佐野 まさ子		公募による区民 及び区長が必要と認める者
	碓氷 喜信		
	小林 茂美		
副会長	木股 里穂		
副会長	松村 拓也		
	石井 裕二		
	大垣 昌之		
	河田 雅司		
	八林 公平		



すみだ環境共創区民会議
令和5年度・令和6年度

令和7年3月

発行 すみだ環境共創区民会議
事務局 墨田区資源環境部環境政策課

表紙・裏表紙:撮影者 区民会議委員 石井裕二
